

## 1 研究主題

児童生徒の学びに向かう力の育成  
～児童生徒の自己調整力を高めるための授業づくり～

## 2 主題設定の理由

### (1) はじめに

学習指導要領が施行されてから数年が経ち、授業やテスト、また、評価の仕方が変化してきた。児童生徒が学んだ知識や技能を用いて思考し、判断し、表現していくためには、授業の中でより深く多角的な視点を持って学んでいく必要がある。ただし、本校が極小規模校のため、9学年中7学年が教師と1対1で授業を行うこととなる。そのため、児童生徒が多面的・多角的に物事を捉え、深い学びにつなげるための、教師による授業づくりの工夫が重要となってくる。

### (2) 児童生徒の実態

本校の少人数という環境の中で、児童生徒は、大人数のクラスでは困難な発表や自身の意見を述べるなどの機会を多く経験している。その一方、教員と1対1で行う授業が多く、友人と意見を交流して新しい考えに触れたり、話し合いを通して自身の考えを深めたりして自己調整する機会は極端に少ない。単元あるいは1単位の授業を通して、自分で学習を調整したり、多様な考えを共有したりすることに課題があると考えられる。

### (3) 主題設定の理由

「はじめに」で述べたように、教師は授業の中で児童生徒がより深く多面的・多角的に深く学ぶことができるよう、仕組んでいく必要がある。「主体的に学習に取り組む態度」は、現在教師の見取りによる評価が大きく、客観的な評価を行うためには、議論していく必要がある。また、1単元や1単位授業の中で児童生徒が自己調整をするための時間を設定することで、主体的に学ぶ力を育成する効果があると考えられるという視点から、今回の研究テーマを提案する。

### 3 研究の目的

本研究の目的は、自己調整学習を通して、児童生徒が単なる知識・技能の習得だけでなく、自己の生活や社会と結びついた思考や判断、表現ができるように仕組むことである。そのためには、それぞれの教科において、①自己調整を行う時間の設定と方法②自己調整を効果的に行うためにどのような手立てをとるか、の2点を考察していく必要がある。

※自己調整学習とは子どもたちが「見通す」「実行する」「振り返る」の3つの段階を踏むことで、自ら学んでいくための力を身に付けさせることである。振り返りをさせる際、学習内容が定着したかどうかだけでなく、学習方法も振り返ることで、少しずつ学習方法の改善がみられるようになっていく。そのために、単元の課題や目標、1単位授業の学習計画を提示し、振り返りを記述させることが大切となる。(参考資料3 木村明憲)

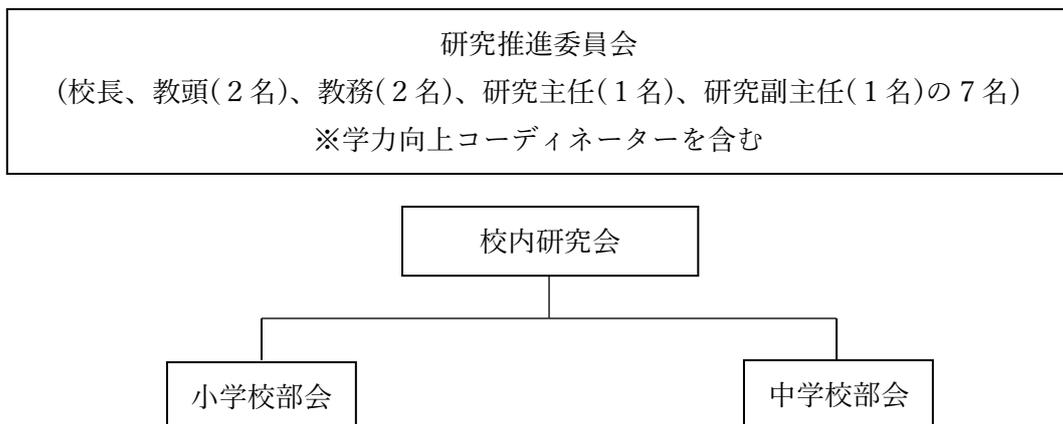
### 4 研究の仮説

主体的な学びを促す授業づくりをする際に、自己調整学習を行う時間を意図的に設定することで、学びに向かう力を高めることができるであろう。

### 5 研究の内容

- ・各教師が各授業や単元の中で、児童生徒自身が自己調整に取り組む時間と方法を研究し、共有する。(頻度は教科の特性にもとづくが、少なくとも単元ごとには設定する。)
- ・各教師が「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、客観的な評価方法を研究し、共有する。
- ・各教師が1回以上、自己調整学習の含まれた研究授業を行う。  
その際の視点として、
  - ① 児童生徒がどのように自己調整学習を行ったか
  - ② 単元あるいは1単位授業の中で、自己調整学習が効果的に行われるように、どのように工夫をしたのか、を明らかにする。

### 6 研究の組織



## 7 年間計画

	校内研修の内容	公開授業の人数	
		小	中
4月	研究の概要説明、確認 児童生徒・教師アンケート（1回目）		
5月	全体研修会 グループ討議（自己調整学習について） 発達段階に応じた自己調整学習の進め方		
6月	授業研究会(小2算数、中3英語)		
7月	授業研究会 児童生徒・教師アンケート（2回目）		
8月	全体研修会（講師招聘） 「評価の方法」について 1学期における自己調整学習の成果と課題		
9月	授業研究会		
10月	授業研究会		
11月	授業研究会(小中別)		
12月	2学期における自己調整学習の成果と課題		
1月	児童生徒・教師アンケート（3回目）		
2月	今年度の成果と課題の確認 来年度の展望、方向性の確認		
3月	来年度の計画		

## 参考資料

- 1 「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料(令和3年3月版)」文部科学省初等中等教育局教育課程課 p.20, p21
- 2 「自己調整学習 主体的な学習者を育む方法と実践」木村 明憲
- 3 「情報学習支援ツール レギュレイトフォーム(学習計画)」木村 明憲  
<https://www.ak-learning.info/self-regulated-training>
- 4 「自ら学びをコントロールする力を育む 自己調整学習」友田 真